

## EPOC/CPOTレクチャー形式セミナー

# MPS

## 医薬品開発における 生物模倣システム の開発最前線

3回シリーズ

### 第2回 MPS開発における企業の役割

2024 **1/22** 水 17:00-18:10



オンライン開催

今すぐ登録

#### MPSサプライヤー東京応化工業のvision

東京応化工業株式会社 新事業開発本部 吉岡孝広  
スペシャリスト

昨今、世界的にもMPSの需要が高まりつつある。創薬スクリーニングにおいて、より精度の高いin vitroでの分析手法の開発は必要不可欠である。

弊社は2017年から2021年のAMED-MPS プロジェクトに参画し、MPSチップ「Fluid3D-X」を上市し、2022年からのAMED-MPS2 プロジェクトにてシステム開発を進め、MPSの社会実装を目標としている。MPS World Summit2024ではその成果報告、Fluid3D-Xの展示を実施し、日本製MPSのpresenceを示した。今後も世界を相手にMPSサプライヤーとして挑んでいく、東京応化の取り組み内容を紹介する。

#### 住友ベークライト(株)の生体模倣システム(MPS)を通じた創薬研究への貢献

住友ベークライト(株)は、これまで細胞培養プレートなどのプラスチック器材を通じて創薬研究に貢献してきました。現在、動物実験の代替法として注目される生体模倣システム (microphysiological system : MPS) を戦略製品として位置づけ、東海大学の木村啓志先生と共同開発したオンチップポンプ型多臓器MPSを「バイオステラ™プレート」として2024年7月から試験販売を開始しました。

このウェビナーでは、バイオステラ™プレートの特長を紹介し、さらに欧米のMPSサプライヤー企業の状況を踏まえた差別化戦略と事業開発状況についてご紹介します。



住友ベークライト株式会社  
S-バイオ事業部  
マーケティング・営業部 主幹

相原 大知